

令和5年度 学校関係者評価書

学校名	北海道斜里高等学校	校長名	増 田 康 広	実施日	令和6年3月21日
-----	-----------	-----	---------	-----	-----------

1 学校教育目標

社会の変化に対応し、自らの能力で生き抜く力を育成

2 本年度の重点目標

1 主体的に学び、考え、他者と協働しながら行動する力を身につけさせる
2 キャリア選択に必要な能力を身につけさせる
3 生命を尊重し、健やかな心を鍛える力を身につけさせる

3 自己評価結果

項 目	今年度の目標	目標達成のための方策と評価の観点	達成状況	自己評価	改善の方策	評 価	
【学習指導】 主体的かつ協 働的な学びの 促進	①学習意欲の喚起・ 学習の習慣化の促 進	基礎学力の向上にむけた学習指導	3.1	B	スタディサプリでの朝学習・課題配信で一定の成果。「やられる」のではなく、主体的に学ぶ姿勢を育めるよう、学ぶ意義を伝えていく。	B	
		家庭学習の習慣化にむけた学習指導	2.5				
	②授業改善の推進	思考力・表現力の育成にむけた指導の工夫・改善 シラバス、授業評価、校内・校外研修等による授業改善	3.0	B			
			2.9				
評価者の意見 等	③総合学科機能の 充実	総合学科（単位制）や地域の特色を活かしたカリキュラムの編成・実施	3.4	B			
	【生徒指導】 規範意識・ 社会性の育成	・地域の特色を活かした教育が推進されていることを強く感じた。 ・生徒が主体的に学ぶための手立てが具体になるとよい。 ・学ぶ意義を生徒が理解できるよう努力が必要。 ・個別のスタディサプリ活用を更に願う。進学指導への活用をもっと考えてはどうか。 ・スタディサプリの活用に向けて、朝学習を通じて習慣化を図った点が評価できる。 ・ゼミの充実から、地域への理解が深まっていると感じる。					
		④基本的生活習慣の 確立	頭髪・身だしなみなど、基本的な生活習慣の確立に向けた指導	2.5	C	今年度、具体的禁止事項を並べる校則から、あるべき姿を考える校則へ改定。見えにくくなった指導のラインを整理していく。	B
		⑤思いやり 意識の 高揚	仲間意識の醸成などいじめの未然防止に向けた取組	3.0	B		
生徒が相談しやすい環境の整備			3.3				
評価者の意見 等	⑥規範意識の涵養	社会規範を遵守し、問題行動を未然に防ぐ指導	2.9	B			
	⑦自治意識の涵養	生徒会・部活動・ボランティア活動の充実	2.6	B			
	【進路指導】 キャリア選択 能力の育成	・ICTを活用した生徒が相談しやすい環境づくりが推進されている。 ・新しい部活動の検討。 ・介護福祉へのボランティア活動も考えていただきたい。従前は、積極的に進んでいたと聞いている。 ・外部専門家を招いてのいじめ対策はとても良いと思う。 ・サポート委員会も評価する。 ・生徒の主体性を伸ばす取組について継続していただきたい。					
		⑪キャリア教育の 充実	「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」などによる進路意識の育成	3.4	B	引き続き、「産社」「総探」での進路探究活動を充実させていく。スタディサプリを進学対策、検定対策ツールとして有効活用していく。	B
⑬進学指導の強化		進路実現に向けた科目選択ガイダンス・個別指導の充実	2.9	B			
		講習・スタディサプリ、各種模試、検定等の受験による意識向上・実力養成	3.1	B			
	⑭就職指導の強化	関係機関と連携した就職指導の強化・連携	3.1	B			
評価者の意見 等	⑮情報提供の充実	生徒・保護者への進路情報の提供	2.9	B			
	評価者の意見 等	・地域との連携が工夫されており、充実した取組が見られる。 ・進学指導の強化に向けてスタディサプリや各種模試により実力アップを図ってほしい。 ・進学、就労に各企業や自治体からの助成事業があると思うので、広く情報を集め、活用を図っていただきたい。 ・生徒の希望を叶える指導がされている。					